

2017年12月5日

**「VISERA ELITE II」システムに対応した
外科手術用 3D 内視鏡に先端湾曲型のラインアップを拡充
直感的な操作による滑らかな視野変換により、スムーズな手術進行をサポート**

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、「VISERA ELITE II」に対応した外科手術用 3D 内視鏡の新製品として、ENDOYEYE FLEX 3D 先端湾曲ビデオスコープ「LTF-S300-10-3D」を 2017 年 12 月下旬から日本、欧州、アジア一部地域で発売します。

体表に数ヶ所穴を開けて、外科手術用内視鏡や専用器具を挿入して行う外科手術(内視鏡外科手術)は、開腹する手術に比べ患者さんへの負担が少ない手術として、さまざまな臨床科で行われています。

今回発売する「LTF-S300-10-3D」は、2017年3月に発売した外科手術用内視鏡システム「VISERA ELITE II(ビセラ・エリート・ツー)」に接続して使用する外科手術用3D内視鏡です。2017年5月に発売を開始したENDOYEYE硬性3Dビデオスコープと合わせて、迅速で正確な内視鏡外科手術をサポートするためにラインアップを拡充しました。

従来機種^{※1}より搭載した、外科手術用3Dビデオスコープとして世界初の先端湾曲機能を有しており、対象部位の正面視だけでなく、裏側まで観察が可能です。あらゆる角度からの視野を自由に作ることで、難易度の高い手術でも、空間を有効的に活用した外科作業をサポートします。同時に、新たにジョイスティック操作部の採用と、スコープ先端部の短縮化によって観察時の使い勝手が向上しました。さらに、「VISERA ELITE II」と接続することで、より高精細で豊かな立体感のある3D映像を提供します。

また「VISERA ELITE II」は3Dだけでなく、IR(赤外光)^{※2}、2D、NBI^{※3}まで多様な観察方法に対応可能です。同時に、多様なカメラヘッドとビデオスコープとの幅広い互換性を有しており、汎用性の高いユニバーサルプラットフォームとして病院内での効率的なシステム運用の実現に貢献します。

※1 ENDOYEYE FLEX 3D 先端湾曲ビデオスコープ OLYMPUS LTF-190-10-3D ※2 InfraRed ※3 狭帯域光観察 (NBI : Narrow Band Imaging)

●発売の概要

販売名	発売予定日
ENDOYEYE FLEX 3D 先端湾曲ビデオスコープ OLYMPUS LTF-S300-10-3D	2017年12月下旬

●主な特長

1. 先端部の直感的な操作が可能なジョイスティックの採用により、安定した滑らかな視野変換に貢献

操作部に先端部の直感的な操作が可能なジョイスティックを採用したことで、スコープ先端を縦・横・斜め方向に自由自在に操作し、観察したい部位に滑らかに視野移動をすることができます。これにより、術者の求める視野を正確かつ速やかに提供し、臓器の動きに対してスムーズに追従することをサポートします。

2. 先端部を従来機種^{※1}より約20%短くし、狭い腔における近接した観察をサポート

直腸周囲や骨盤腔内といった狭い腔では、先端部を湾曲しづらく、対象までスコープを近づけることが難しい場面もありました。本製品では、先端部を従来機種^{※1}より約20%短くすることで、狭い空間でも近接した観察がしやすくなりました。これにより、スムーズな手術進行に貢献します。



ENDOYEYE FLEX 3D 先端湾曲ビデオスコープ
OLYMPUS LTF-S300-10-3D



新たに採用したジョイスティック操作部

製造販売元はオリンパスメディカルシステムズ㈱です。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。